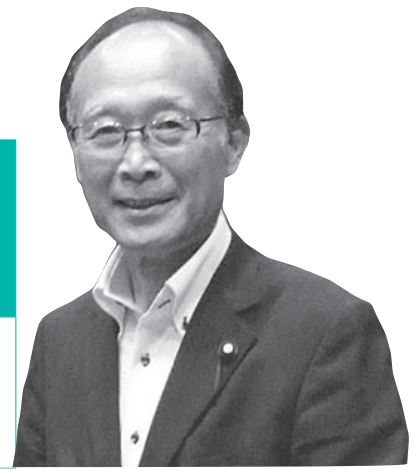




質問

小型農機具にも補助金制度を

町長

町単独支援は困難



小型農業機械の購入補助制度を

町長 個別農家への支援となると多くの財源が必要のため、

質問 全ての米農家を守り、増産に転ずるために全力を尽くすことが必要だ。
中山間地域等直接支払制度以外に、中小規模の農家が利用できる小型農業機械の購入補助制度の創設を求める。

質問 きぬむすめなど、コシヒカリより晩生（おくて）の品種や多収品種の導入、

町単独支援は困難で、国レベルでの支援策がないとできない。育苗センターやカントリエレベーターなど、多くの農家に利用いただいている農業施設を整備している。

カントリエレベーターでの受け入れ開始が必要では。

町長 県やJAなど関係機関と情報共有を進めたい。カントリエレベーターでは、コシヒカリのみを受け入れている。複数品種の受け入れはできない。町内で多くの農家が晩生や多収品種を生産される状況になれば、新たな施設整備についても検討していきたい。



各家庭で防災ラジオの保守を

質問 全世帯に配布された防災ラジオ（戸別受信機）は、火災発生、大雨の警戒情報などの情報伝達に役立っている。災害発生や避難行動が必要になった際に、町民にお知らせ出来ない事態は回避すべきだ。各世帯での戸別受信機の保守状況を定期的に把握し、電池切れやコンセント

防災ラジオの保守状況把握を

を抜くなど、使用中止を回避する必要がある。

総務課長 実際の利用は各家庭に判断をゆだねている。今だに設置されていない家庭があれば、自らの命、財産を守るために設置していただきたい。電源が切れていないか、抜けていないかなど確認していただきたい。昼や夕刻の試験放送が聞こえない場合は、総務課に連絡をいただきたい。

その他の質問

国保税滞納世帯の窓口負担を3割に実態を直視した介護施策展開